基礎演習課題

次の文を論文として不適切な箇所を修正し、書き直したものをメール添付で送信してください。その際、修正履歴を残してください。

学生番号　氏名

日本人と労働、ジョン・リー

　世界中のみんなは、よく、日本人を、働きすぎだと、非難するその背景には戦後日本が社会資本や社会福祉の充実を後回しにして生産第一主義効率主義を掲げ高度経済成長を成し遂げたんだとする見方があります。つまり『豊かさ』のために、人間らしい生活をだめにしているんじゃないかということが問われているんですね。

　人間らしさを取り戻すためにしなくちゃいけないことはいっぱいある。中でも、余暇を確保することはとっても大切なことだ。僕のこの論文ではまず、日本人の労働と、余暇の現状について書いて、その後、ホントに日本人は働きすぎなのかどうかを検証して、「日本人は働きすぎ」という議論の問題点を明らかにして、最後に日本での労働と余暇が今後どうあるべきかを提言したいと思う。

1991年の労働白書によれば、「日本人の年間総労働時間は、二千六時間となっており、欧米に比べて200時間から500時間も多い。先進国の中で200時間をこえているのは日本だけである」。

　かつては、‘日本人は勤勉だ’という海外の評判は、日本に対する賛辞であり、よく働くことはプラスイメージで捉えられていた（Smith, 1993）。しかし、八十年代に入って欧米諸国との経済摩擦が激しくなると日本人の働きすぎはもはや賛辞の対象ではなく、非難の対象にさえなった。さらに、日本は労働時間が長いだけでなく、休日日数も少ない。このことから、『長い労働時間と少ない休暇が欧米への輸出構成の根源にあることが批判され、勤勉への「外圧」が高まっている』。（NHK世論調査部編 1991 「現代人の意識構造第3版」）

けど、問題は、労働時間っていうのはどんなふうに計りますか。会社に入る時間から退社する時間までを労働時間と言っていいんでしょうか。

次みたいな例について考えていただきたいです。自分の運転時間が終わって、次の運転時間までちょっと時間があって、列車とかバスとかの運転手が休憩室で休んでいるとき、その時間は労働時間ですか。会社でコーヒーなんかを飲んで、新聞や雑誌を読んでいる次官は労働時間ですか。お客様とゴルフをさせていただいたり、英会話を習いに行かせていただいていたり、何もすることがなくてぼうっとしたりしうている場合はいかがですか。

こんなことを考えてみると、日本人はいつも働きすぎじゃないかって言われているけど、その内容をもっともっと調べてみる必要があるんじゃないかって思うんですね。そのことが将来の日本をよりよくすると思う。